

グローバル創薬関連株式 ファンド

追加型投信／内外／株式

日経新聞掲載名：グロ創薬株式

2022年11月11日から2023年11月10日まで

第 2 期 決算日：2023年11月10日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、世界の創薬関連企業の株式へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

基準価額(期末)	11,610円
純資産総額(期末)	1,033百万円
騰落率(当期)	-4.5%
分配金合計(当期)	0円

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2022年11月11日から2023年11月10日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	12,157円
期末	11,610円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-4.5% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2022年11月11日から2023年11月10日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界の創薬関連企業の株式に投資を行いました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 医薬品、バイオテクノロジー大手を中心に、良好な企業業績と臨床試験結果が好感されたこと
- シージェンやホライゾン・セラピューティクスなどの活発なM&A(企業の合併・買収)活動
- 米ドル高・円安となったこと

下落要因

- インフレ高止まりを背景に金利上昇が継続したことで、小型銘柄を中心に下落したこと
- 新型コロナへの懸念が後退したことで、新型コロナ関連銘柄が下落したこと

1万口当たりの費用明細(2022年11月11日から2023年11月10日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	145円	1.232%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) [期中の平均基準価額は11,800円です。]
(投信会社)	(39)	(0.330)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(104)	(0.880)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(-)	(-)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(-)	(-)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(-)	(-)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	146	1.239	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

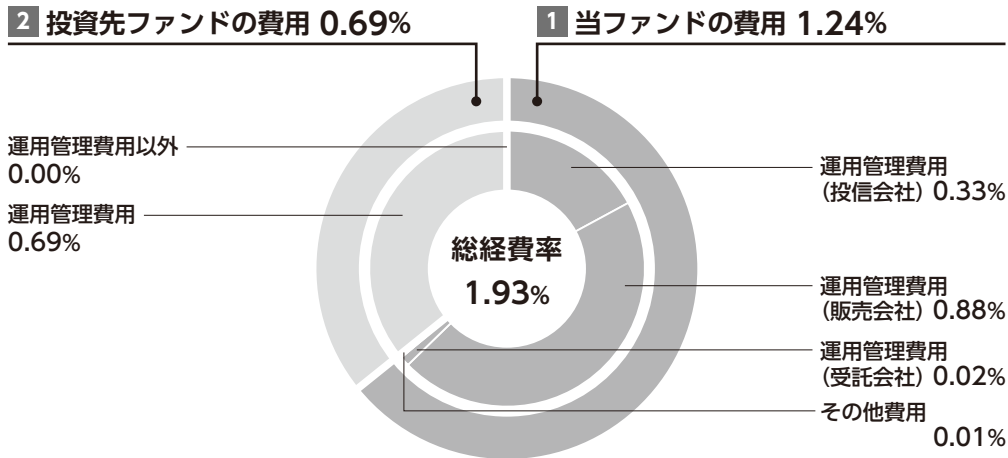
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率 (1 + 2)	1.93%
1 当ファンドの費用の比率	1.24%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

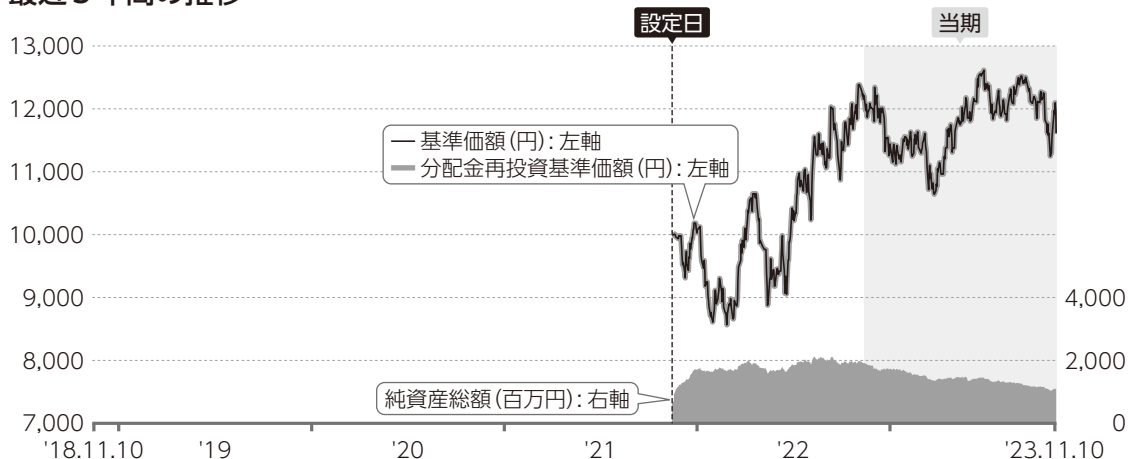
※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.93%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2018年11月10日から2023年11月10日まで)

当ファンドは、ファンド設定後5年間を経過していないため、設定日(2021年11月12日)以降の情報を記載しています。

最近5年間の推移



		2021.11.12 設定日	2022.11.10 決算日	2023.11.10 決算日
基準価額	(円)	10,000	12,157	11,610
期間分配金合計(税引前)	(円)	—	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	21.6	-4.5
純資産総額	(百万円)	683	1,909	1,033

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2022年11月11日から2023年11月10日まで)

創薬関連市場は下落しました。為替市場では米ドルに対して円安となりました。

創薬関連市場

期初から年明けに掛けて、創薬関連市場は一進一退となりました。S V B 破綻などの影響から一時下落する局面もありましたが、年央までは株価の回復が続きました。しかし、インフレの高止まりを背景に米国金利が上昇し、期末に掛けて下落が続きました。

為替市場

期末の米ドル円は、期初と比較して円安となりました。

日銀のイールドカーブコントロール政策の変更などを受けて年末に掛けて円高に振れましたが、年明け以降は、日銀の金融緩和姿勢が当面続くことが見込まれ、米ドル高・円安基調となりました。

ポートフォリオについて(2022年11月11日から2023年11月10日まで)

当ファンド

「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー(Sクラス、円建て)」の組入比率を原則として高位に保ちました。

カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー(Sクラス、円建て)

カンドリアム・エス・シー・エーの投資プロセスと意思決定はボトムアップにフォーカスしており、個別企業のニュース、特に臨床試験に大きく依存しています。これが銘柄選定とポートフォリオ構築の基礎となっています。

期初から年央に掛けては、臨床リスクが低く抑えられている中小型銘柄へのウェイトを慎重に増やしましたが、金利が更に上昇する中で、一部の大型株のエクスポー

ジャーも増やしました。

個別銘柄では、肥満治療薬の開発が進む中で、この分野でのリーディングカンパニーであるイーライ・リリーを新規で組み入れました。また乾癬をはじめとしたいくつかの自己免疫疾患治療薬が有望であったことからムーンレイク・イミュノセラピューティクスも新規で組み入れました。一方で治療薬の開発ペースが遅く、臨床試験結果も競合他社対比で大きな差別化が図れていないことからエナンタ・ファーマシューティカルズを売却しました。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2022年11月11日から2023年11月10日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2022年11月11日から2023年11月10日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第2期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,034

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとした。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー(Sクラス、円建て)」の組入比率を原則として高位に保ちます。

カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー(Sクラス、円建て)

インフレが落ち着きを見せ始めており、2024年には米国政策金利の利下げも視野に入ると考えられます。こうした中で、中小型の創薬企業の調整が落ち着き、今後は再

び個別銘柄の臨床試験結果が株価を左右する環境に戻ると見込んでいることから、臨床試験の分析を通じたボトムアップでの銘柄選定を行い、最も革新的な医薬品や企業への投資を続けます。

キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

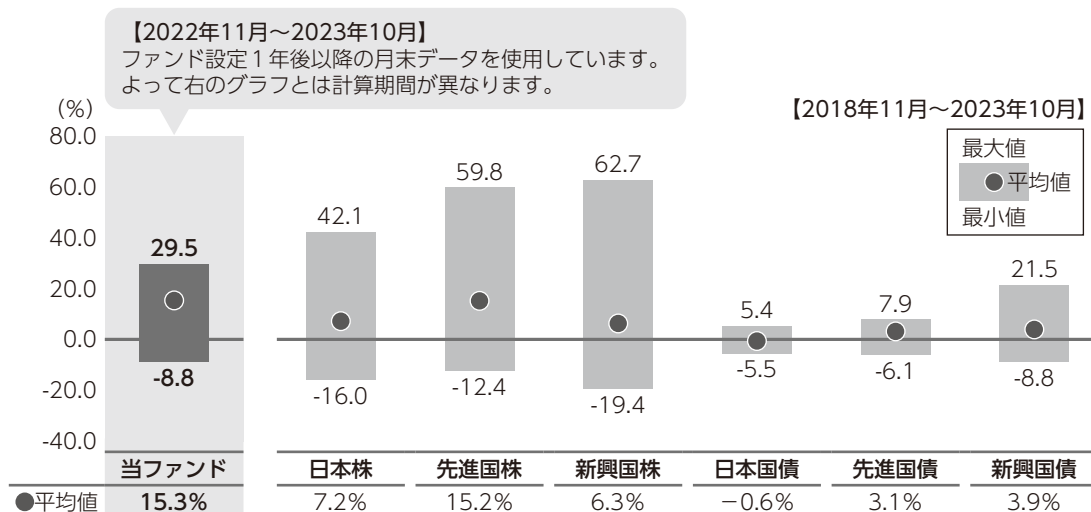
約款変更について

該当事項はございません。

4 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2021年11月12日から2031年11月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、世界の創薬関連企業の株式へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー(Sクラス、円建て) 世界のバイオテクノロジー関連企業の株式 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 本邦貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■主として、革新的な技術力で医療分野に新たな可能性を生み出していく世界の創薬関連企業の株式に投資を行います。 ■実質的な運用は、カンドリアム・エス・シー・エーが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> ■年1回(原則として毎年11月10日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当収入と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
	ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。
日本国債	NOMURA-BPI (国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。
先進国債	FTSE 世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。
新興国債	JPMorgan・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

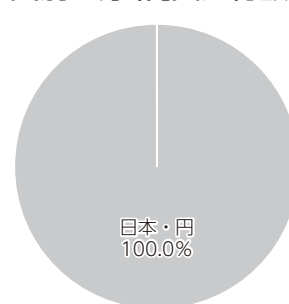
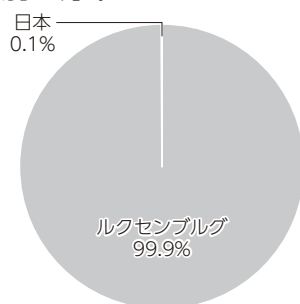
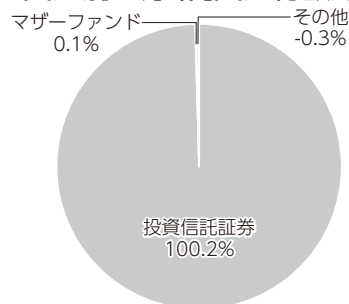
当ファンドの組入資産の内容(2023年11月10日)

組入れファンド等

銘柄名	組入比率
カンドリアム・エクイティーズ・L・パイオテクノロジー(Sクラス、円建て)	100.2%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.1%
コールローン等、その他	-0.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

項目	第2期末 2023年11月10日
純資産総額 (円)	1,033,235,721
受益権総口数 (口)	889,986,754
1万口当たり基準価額 (円)	11,610

※当期における、追加設定元本額は357,397,351円、解約元本額は1,038,401,308円です。

組入上位ファンドの概要

カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー（Sクラス、円建て）
 (2022年1月1日～2022年12月31日)

基準価額の推移以外は投資ファンドを含むシェアクラスで構成された「カンドリアム・エクイティーズ・L・バイオテクノロジー」の情報で、カンドリアム・エス・シー・エーから提供されたデータに基づき作成しています。

基準価額(円建て)の推移



※分配金再投資ベース

組入上位銘柄

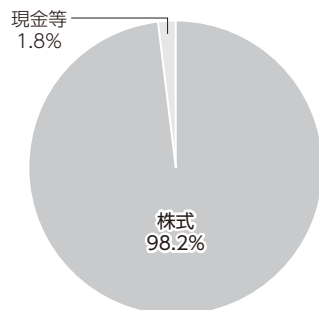
(基準日：2022年12月30日)

	銘柄名	国・地域	業種	比率
1	リジェネロン・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.9%
2	ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	6.6%
3	アムジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	5.9%
4	バーテックス・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	5.4%
5	パイオジェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	4.1%
6	アルナイラム・ファーマシューティカルズ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	4.0%
7	モデルナ	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	3.7%
8	シージェン	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.7%
9	ホライゾン・セラピューティクス	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー	2.3%
10	アストラゼネカ	イギリス	医薬品・バイオテクノロジー	2.1%
	全銘柄数	95銘柄		

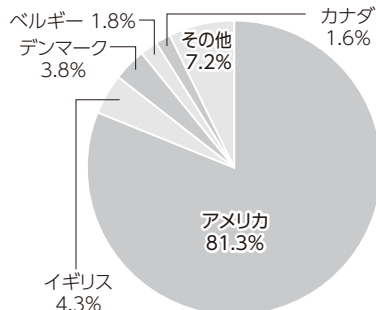
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全銘柄の情報については、運用報告書(全体版)に記載しています。

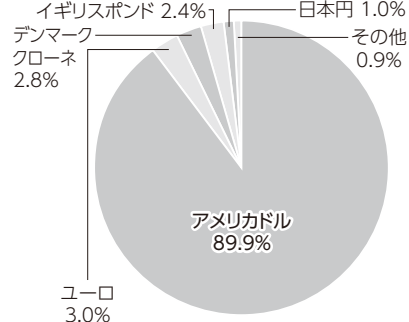
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(純資産総額比)



通貨別配分(純資産総額比)



※国別配分は原則発行国もしくは投資国を表示しています。

※基準日は2022年12月30日です。

1万口当たりの費用明細

単位当たり費用明細は入手できるデータがないため記載していません。